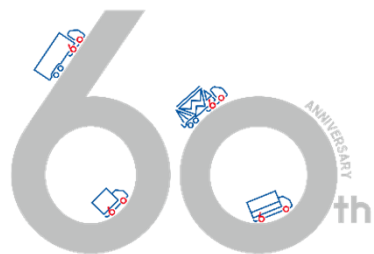
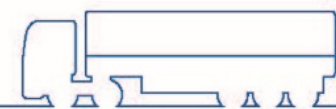


物流の2024年問題解決へ向けた トレーラ活用のご提案



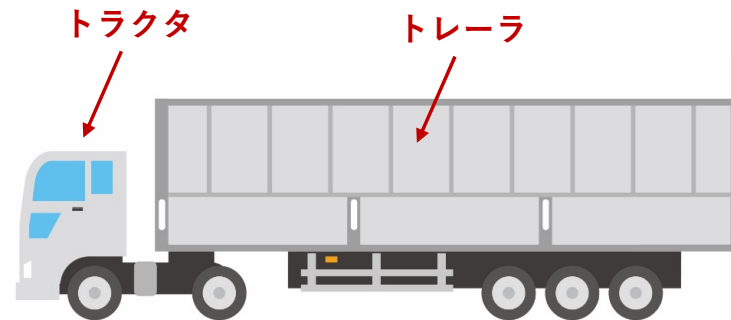
－目次－

1. トレーラとは
2. トレーラのメリット・デメリット
3. 物流の2024年問題解決に向けて 日本トレクスの取り組み
 - トレクスドライビングスクール
 - 申請・登録関連業務支援
 - TQO（トレクスクイックオーダー）短納期製品の展開

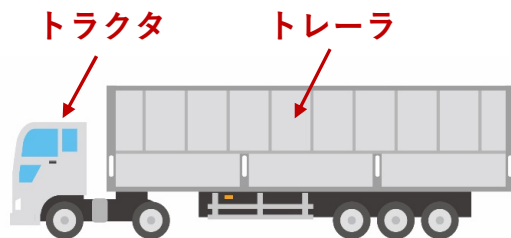
1. トレーラとは

トレーラとは「トラクタ」と呼ばれる車両に、けん引される車両のことを指します。

トラックとトレーラの大きな違いは、自走できるか否かという点で、一般的なトレーラはトラックよりも一度に大量の荷物を運ぶことができます。



トレーラは、大きく「セミトレーラ」「フルトレーラ」「ポールトレーラ」の3種類に分類されます。



セミトレーラ



フルトレーラ

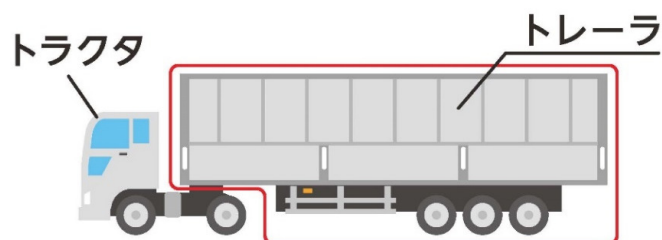


ポールトレーラ

1. トレーラとは

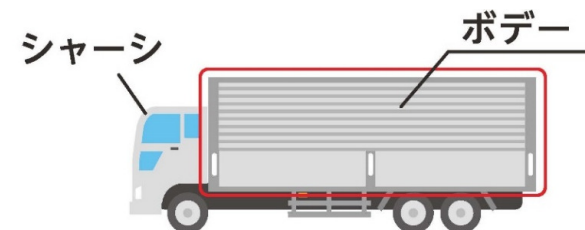
トレーラとトラックの違い

トレーラ



免許	大型免許・けん引免許
積載量	約20～27トン
全長	約17m (トラクタ+トレーラ)
荷台全長	約13m (トレーラ)
通行許可	車両制限令による通行許可申請が必要。 許可された経路のみ通行可能。

トラック



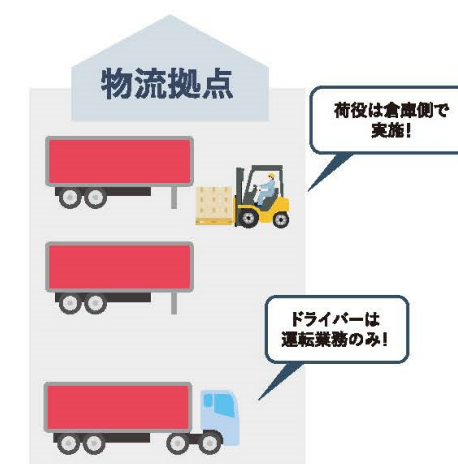
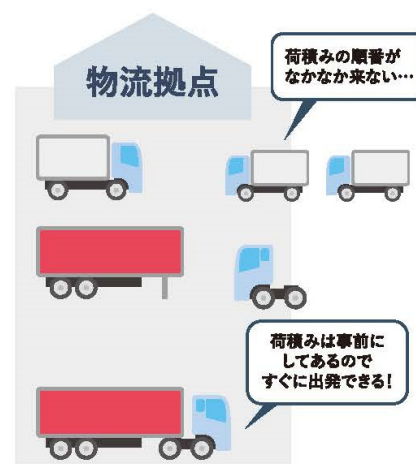
免許	大型免許
積載量	約10～15トン
全長	約12m (シャーシ+ボデー)
荷台全長	約10m (ボデー)
通行許可	経路により申請が必要なケース有り。

2. トレーラのメリット・デメリット

メリット

➤ 中継輸送・荷待ち時間短縮・荷役業務分離

「切り離し」ができることにより「中継輸送」に加え「荷待ち時間の短縮」「荷役業務の分離」が可能。



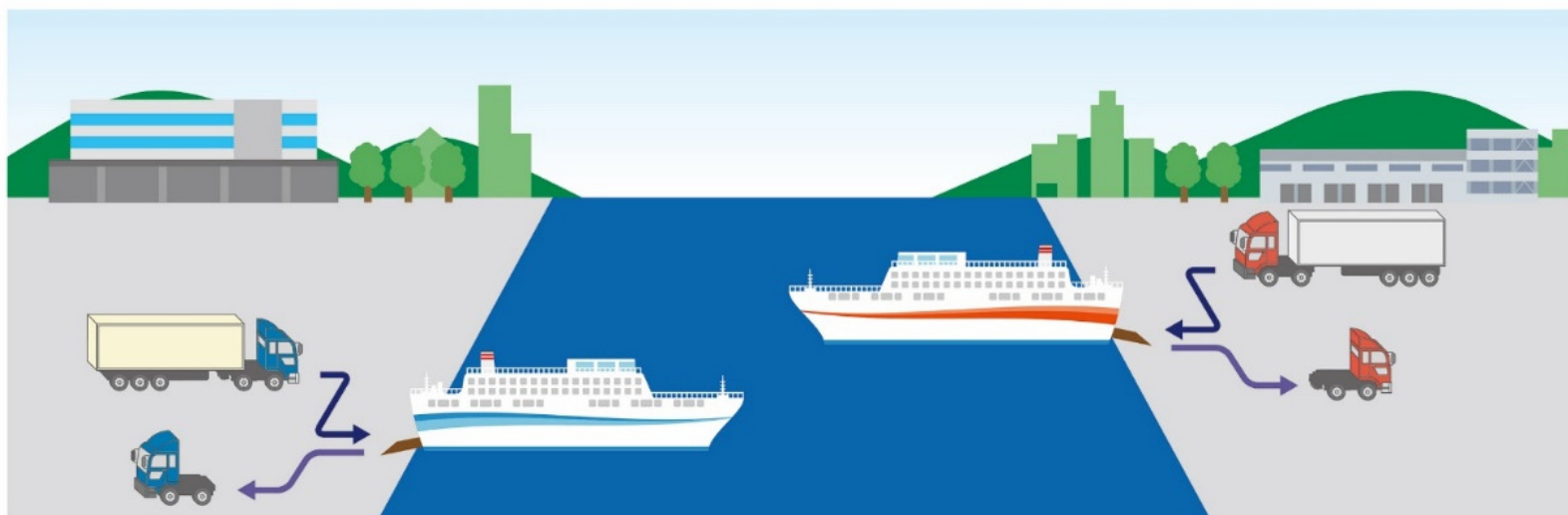
2. トレーラのメリット・デメリット



メリット

➤ モーダルシフトへの対応

フェリー輸送は車両全長により料金が決まり、トレーラでの無人航送を行うことで高い輸送効率を実現。



モーダルシフトのイメージ

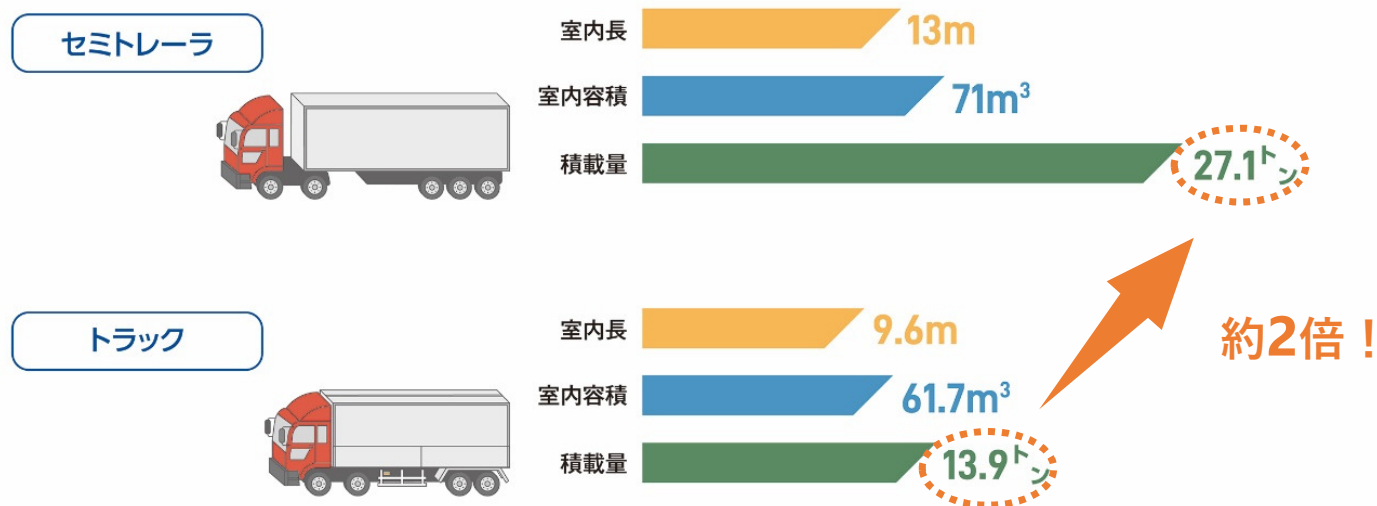
2. トレーラのメリット・デメリット



メリット

➤ 積載量アップ

トラックよりも多くの荷物が積める。積載率向上により、CO₂排出量削減にも貢献。



※通行許可となる積載量は通行経路によって変わります。
※寸法、容積、積載量は一例です。※車検証上の積載量です。

2. トレーラのメリット・デメリット



メリット

➤ **重量税がかからない**

トレーラには重量税がかからないため、複数のトレーラを1台のトラクタでけん引する際にコストメリット有り。



2. トレーラのメリット・デメリット



メリット

➤ リフトアクスル機能活用によるコストメリット

空車時および軽積載時に、車軸が上昇するリフトアクスル機能を使用することで、高速料金が大型車扱いとして通行可能。

また、リフトアクスル時は抵抗減による燃費向上、タイヤ・ブレーキ摩耗減少にも貢献。



リフトアクスルした状態（写真は中軸残し）

2. トレーラのメリット・デメリット



デメリット

- **トラクタが必要。**
トレーラはトラクタと連結しなければ運行できません。
- **けん引免許が必要。**
大型免許に加え、けん引免許が必要となります。
- **通行許可申請が必要。**
- **高速道路料金が割高。**（大型トラック比：約1.7倍）
車軸数によって異なります。空車時など車軸を上げること（リフトアクスル）で高速料金が大型トラックと同等になります。
- **車検証上の最大積載量と、通行許可上の最大積載量が異なるケース有り。**
- **集荷/配送先や駐車スペースの確保が必要。**

3. 物流の2024年問題に向けて 【日本トレクスの取り組み】



トレクスドライビングスクール

当社では以前より、お客様から「**現物に触れて導入を検討したい**」「**トラックからトレーラへのステップアップを支援してほしい**」といった声を多数頂いておりました。トレーラメーカーが、実際の車両を使用してドライビングスクールを開校することで、2024年問題解決の一助となることを目指しています。

2024年4月より、セミトレーラを使用した講習からスタートしており、順次ダブル連結トラックやスワップボデーも始めていく計画です。



トレクスドライビングスクール
詳細はホームページから→

<https://www.trex.co.jp/products/driving-school/>



3. 物流の2024年問題に向けて 【日本トレクスの取り組み】



申請・登録関連業務支援

複雑で時間を要する通行許可申請や緩和申請、改造申請などの対応に困るといった声を受け、当社は行政手続きのプロフェッショナルである「行政書士」と提携し、許可申請等の取得サポートを一部地域よりスタートしました。

確実な運行計画の推進だけでなく、事務負担の軽減、コンプライアンス強化など、運送会社様のお困りごとをサポートするサービスとして、**今後順次拡大予定**です。



3. 物流の2024年問題に向けて 【日本トレクスの取り組み】



TQO（トレクスクイックオーダー）短納期製品の展開

“**すぐに使える即戦力がほしい**”というニーズにお応えする「**トレクスクイックオーダー（TQO）**」シリーズが誕生しました。

輸送スタイルにフィットするプロ仕様の装備を備えており、即戦力としてご活用いただけます。

対応機種も順次拡大中です。

ニーズに
フィット！
すぐ使える！

TQO

トレクス クイック オーダー

誕生。



TQO詳細は
ホームページから →



<https://www.trex.co.jp/products/trextqo/>

最後までお読みいただきありがとうございます。

トレーラ活用をご検討されている皆様の一助となれば幸いです。

本資料についてご質問等ありましたら、お気軽に下記までお問い合わせ下さい。

【本件に関するお問い合わせ】

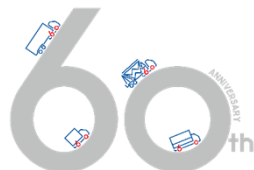
日本トレクス株式会社 製品に関するお問い合わせフォーム

HP

<https://req.qubo.jp/trex/form/contact>



Follow us!!



HP



Youtube



@nippon-trex.official



@trex_pr



@TREX_PR